



確かな学力をもつ、心身ともに健康な生徒の育成

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日(火)に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、お知らせします。

この調査は、毎年小学校6年生と中学校3年生で実施されています。全国の児童生徒の学力や学習の状況をデータとして把握・分析し、学習計画を立てて、実践し、評価・改善を繰り返して、個々の児童生徒への指導に役立てることを目的としています。つまり、「実力テスト」ではなく、「指導改善」が目的です。調査は「国語A・国語B」、「数学A・数学B」今年3年ごとに実施される「理科」で行われています。「A」は「主として『知識』に関する問題」が出題されていますが、暗記したら良いというものではありません。「B」は「主として『活用』に関する問題」です。『活用』とは、知識・技能を実生活の場で役立てる力を身につけることを意味しています。「理科」は「知識」と「活用」が一体で出題されています。

さらに生活や学習への意欲・関心・態度などの59項目に及ぶ調査の「生徒質問紙」や、各学校の取組の様子が分かり、今後どの取組に力を入れるべきかが分かる「学校質問紙」があり、本校の3年生や学校の実態や傾向も分かるようになってきました。昨年度同様、各教科において、毎時間、「めあて」と「振り返り」を設定した授業を実践し、知識の定着を図ったり、生徒の思考を深める「発問の工夫」を試行錯誤し、「話し合う活動」と「書く活動」を入れることにより、授業改善に取り組んできました。また、読書週間・生活習慣の確立に向けた県PTA連合会と連携した年3回のチェックシートを活用し、保護者の方々が、生活のリズムや読書、携帯電話の使い方をお子様と話し合ってきた結果、徐々に学力や学習状況にもよい変化が見られるようになってきました。

調査の結果から、「国語A・国語B」、「数学A・数学B」「理科」の平均正答率で見ると、三重県は全国平均より少し低くなっていますが、本校では、どれも全国・三重県平均を下回っています。

「国語A・国語B」の内容から分析すると、「話す、聞く、書く力」が大きく下回っています。これは、基礎・基本的な学力が定着していないことが考えられます。生徒質問紙でも、テレビやインターネットの動画ニュースなどは見るが、新聞などの活字を毎日読んでいる生徒は1割にも満たないことが明らかになっています。しかし、語句の意味を踏まえて文脈上の意味を捉える項目は全国・三重県と比べて上回っています。

「数学A・数学B」の内容から分析すると、「関数」や「資料の活用」が全国・三重県と比べて大きく下回っています。関数をグラフにしたり、その増加量を求めたりすることが苦手であったり、資料を活用し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することが苦手であったりすることが考えられます。授業においても基礎的な確認問題を多く取り入れ、定着させる必要があります。

「理科」の内容から分析すると、他の2教科に比べ、全国・三重県の平均にわずかに下回る結果となりました。特に、第2分野の生物学的な領域に関しては、平均を上回っています。基礎・基本を重視しながらも、生徒の興味・関心に応じて、発展的な内容にも触れ、学習の定着を図っている結果であると考えられます。

国語と数学はA「知識」、B「活用」に分かれています。A問題とB問題の結果には強い相関関係があることがわかっており、「知識」と「活用」をばらばらに習得しようとせず、「活用」の学習を通して「知識」を定着させる方向性で、これらの結果を全教職員で分析し、生徒一人一人の、強みと弱みを理解して、全学年を通じた授業改善に活かしていきたいと考えています。3年生は、個人の結果をお配りしましたが、平均より上か下かではなく、内容についての意義のある話し合いをしていたらと期待しております。

## 生徒質問紙の結果について (抜粋)

○先頭の番号は生徒質問紙 59 問中の番号です。

### 1 「自分には良いところがありますか」

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1 当てはまる 36.2%          | 2 どちらかといえば当てはまる 51.1% |
| 3 どちらかといえば当てはまらない 6.4% | 4 当てはまらない 6.4%        |

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」があわせて約 87%ありますが、本校の過去 3 年間と比較しても一番高い値となりました。全国・三重県の結果と比べても、大きく上回っています。自分自身を認め、仲間を認めることを、今後も行事を通して、高めていきたいと思います。

### 3 「将来の夢や目標を持っていますか」

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 当てはまる 53.2%           | 2 どちらかといえば当てはまる 10.6% |
| 3 どちらかといえば当てはまらない 19.1% | 4 当てはまらない 17.0%       |

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」があわせて約 64%で、過去 3 年間や全国・三重県の結果と比べても、下回っているのが気になります。自分を見つめ直し、自分と社会との関わり合いを考え、自らの意思と責任において自己の生き方や進路選択ができるような、キャリア教育の充実を図っていきたくと考えます。

### 6 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 当てはまる 74.5%        | 2 どちらかといえば当てはまる 25.5% |
| 3 どちらかといえば当てはまらない 0% | 4 当てはまらない 0%          |

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が 100%と、すばらしい結果となりました。その思いが実現するように、上記同様、キャリア教育の充実を図り、将来に向けての具体的な生き方指導に力を入れたいと考えます。

### 10 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 している 17.0%     | 2 どちらかといえば、している 40.4% |
| 3 あまりしていない 38.3% | 4 まったくしていない 4.3%      |

### 11 「家で、学校の宿題をしていますか」

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1 している 85.1%    | 2 どちらかといえば、している 12.8% |
| 3 あまりしていない 2.1% | 4 まったくしていない 0%        |

### 12 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 している 21.3%     | 2 どちらかといえば、している 38.3% |
| 3 あまりしていない 29.8% | 4 まったくしていない 10.6%     |

### 14 「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1 3時間以上 4.3%           | 2 2時間以上、3時間より少ない 34.0% |
| 3 1時間以上、2時間より少ない 31.9% | 4 30分以上、1時間より少ない 21.3% |
| 5 30分より少ない 4.3%        | 6 全くしない 4.3%           |

家庭学習では宿題はしますが、予習・復習など、自分のための勉強時間が少ないのが気になります。

### 15 「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」

- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| 1 2時間以上 6.4%     | 2 1時間以上、2時間より少ない 10.6% |
| 3 30分以上 21.3%    | 4 10分以上、30分より少ない 21.3% |
| 5 10分より少ない 12.8% | 6 全くしない 27.7%          |

上記、生徒質問紙の 10～15 までの項目は、全国学力・学習状況調査の平均と深く関係があるとされている項目です。各家庭でもただ単に「勉強しなさい」ではなく、具体的な数値目標を掲げて取り組んでみたらいかがでしょう。